

2023年5月25日に開催された2023年度第2回理事会(定例)の概要をお知らせします。

<決議事項>

●第13期(2022年度)事業報告

重点項目に対する取り組みについての報告がなされた。

2022年度中に中期経営計画は完成できなかったため、他NFの公表資料も参考にしつつ、JVA事務局内の管理職会議で議論を行った。2050年構想や財務に特化した中期計画、前会長のコミットメントなどもあるため、それぞれを確認したうえで、2050年構想に基づいた2024-2027の中期経営計画を策定し、2023年度については各事業本部から出された事業計画を推進しようと考えている。

人員計画については、中期経営計画が完成していないため、それに基づく人員計画、育成計画も策定できていない。ただし優秀な人材確保や職員の育成のため、外部のコンサルティング会社のアドバイスの元、働き方改革や人事制度の再構築に着手している。退職者の後任採用、2月1日付で職員の若干の人事異動は実施できた。また新人職員へのサポート施策も計画に沿って実施した。

組織運営体制の整備については、ガバナンス高度化を目指し、公平性・透明性のある意思決定の仕組みを整えるべく、ガバナンスコード適合性向上を図るための目標数値やJAPANバレーボール宣言、JAPANバレーボールWAYを発信した。またコンプライアンス遵守を最優先の重要課題として、必要な委員会の新設に向けて準備中。内部統制の強化に資する体制を整えることも進めており、まず役員選定規程を改定した。

また、強化事業についてはバレーボール男子日本代表のVNL初のファイナル進出、女子日本代表の世界選手権5位、ビーチバレーボール世界選手権での石井/溝江ペアの17位など、各カテゴリーで活躍が見られた。

大阪府バレーボール協会の資金着服問題から、加盟団体法人化への取り組みが始まっている。また「暴力撤廃アクション」も開始した。

Vリーグについては、競技運営をはじめとして、より緊密に連携する必要がある、今後の課題としたい。

※第13期(2022年度)事業報告につきましては、JVAホームページに掲載いたしましたので、ご参照願います。[2022-2023workreport \(jva.or.jp\)](https://jva.or.jp/2022-2023workreport)

●第13期(2022年度)決算

【監査報告】

事業報告書は法人の状況を正しく示している。会計帳簿は公益法人会計基準に従い記載す

べき事項を正しく記載している。計算書類は状況を正しく示している。

【決算の概要説明】

JVA はどのような大会を開催するかにより収支の規模が大きく変わるため、前年との比較はあまり意味がないためここでは予算と決算を比較することで説明する。

「経常収益計」

24 億 5,700 万円となり、予算より 4 億 8,200 万円増加。予算比では 1.24 倍。昨年も 20 億円のため、5 億円ほど増加している。こちらは収入のタイプにより科目を分けて記載している。

「経常費用計」

22 億 8,800 万円と予算より 3,100 万円ほどの微増だが、全体で見ればほぼ予算どおり。こちらは科目というよりも、部署ごとの予算と決算の対比で見ている。

■収入の概要

最も大きいものは入場料収益。1 億 5,000 万円ほど予算を上回り、予算比 1.6 倍。増えた要因は VNL 男子 (6,500 万円)、男女親善試合 (5,400 万円) の上振れ。今年の場合はこの中に 2 つの要素がある。ひとつは、「予算策定の際に、完全にコロナが解消されないかもしれない前提で立てたこと」。入場制限の可能性など色々なことを考えて予算を立てたため、少し収入予算が少なくなっている。ただ、結果的に制約がなくなり開催できたために差異が出たことが第一点。もう一つは「コロナに関係なく予想よりも集客ができたこと」。男子人気が高かったこと、特に沖縄での親善試合では物販の商品がなくなるほどの盛況だったことに見られるように、予想以上の集客があったことが第 2 点。

また協賛金も伸びていて、予算比 105%。率でいうと大きくないように見えるが、金額としては 5,800 万円ほどの上振れとなっている。予定していた協賛は全ていただけて、かつ新規協賛が 3,300 万円、世界バレーの協賛が 2,700 万円ほどいただけた。

物品販売も、VNL 男子をはじめとする人気により予算より上振れた。

その他事業収益について 1 億円の上振れがあるが、ほとんどは賞金。賞金は増えてもほとんどが選手、スタッフに配分されるため、同様に費用が増えている。カプコンアワードで 2,000 万円いただけることになったが、その分も費用も同時に増えている。

受取補助金、交付金等についても前年並みの決算ではあるが、予算比で 1 億円伸びている。

予算策定段階では、東京五輪でのバレーボール女子チームの成績が振るわなかったこと、オリンピックムーブメントが終わって補助金全体が縮小される懸念があったこと、ビーチ不祥事の影響が出ると思われていたことから減収を想定していたが、幸いにも前年並みに助成いただけた。

雑収入は増加のうち 1,000 万円が円安による為替差益。その他にギフト収入が予想よりも伸びた。

■支出の概要

全体で見ればほぼ予算通りではあるが、個々で見ればばらつきがあり、今後検討が必要。

国内大会は予算よりも4,700万円増えている。ここも先ほどと同様に2要素あり、コロナ禍で様子見の予算立てであったこと。実際は制限なく開催できたことで、人が多く来場することで会場費や警備費など運営費の増加がみられた。またカプコンアワードの賞金が国内大会で使われたため、その分も増加の要因。

マーケティングの8,100万円未達は、ブランディング費用として2億円ほどの予算を立てていたが、ブランディングは数年がかりの事業のため、まだ未達の部分がある。本来は各年度に割り振って予算を立てるべきであったが、わかりやすさを優先して単年度の予算に加えたため、まだ使っていない費用については23年度予算に含めて運用している。

広報の2,500万円マイナスも、予算時に計上したJVAサイトリニューアルの費用に未使用分があるため。事業年度を越えて動いているものがあるため、その分がマイナスとなっている。事務局のところは4,200万円増えているが、消費税が5,000万円ほど増加したことの影響。予算よりも収入が増えており、その主な内容が協賛金と入場料。ともに消費税がかかるため、結果的に費用も増えている。

評価損益として2,000万円増加している点については、現在保有している社債の時価評価をしたところで益が出たもの。ただしこの部分は実際に売ったわけではないため会計理論上の数字。いずれは満期になって100%で戻ってくることを考えれば、どこかでこの2,000万円が評価損として出てくる。評価損益のところプラスマイナスが出てくるが、結果的には収支に影響しない。

税金控除後、最終的には1億8,600万円の黒字となった。予算は2億8,100万円の赤字だったため、4億6,700万円の上振れという結果となった。

正味財産の合計は、前期末20億6,500万円だったものが、2億円ほど増加して22億5,200万円となった。

正味財産増減の状況と推移については、2016年度から右肩上がりに増えて、22億5,000万円ほどとなっている。2015年度頃、正味財産が10億円を切ると運営に支障をきたすということで危険視していたが、男子人気やオリンピックムーブメント、コロナ禍による支出抑制もあり、当面は運営に問題ない水準となっている。

※なお、第13期(2022年度)決算報告につきましては、JVAホームページに掲載いたしましたので、ご参照願います。[2022-2023financial_statements \(jva.or.jp\)](https://www.jva.or.jp/2022-2023financial_statements)

●コンプライアンス違反に対する処分決定について

対象チーム	対象行為者	資格	違反行為	理事会処分決定
茨城県内高等学校 男子バレーボール部	監督	JVA 公認審判員資格の保有なし	暴言行為	譴責

●定時評議員会の開催及び目的事項について

2023 年度定時評議員会を次の日時に開催するものとし、その目的事項（議題）として、以下の決議事項 2 件、報告事項 4 件とすることを提案いたします。

1. 日 時： 2023 年 6 月 15 日（木）14：00 ～ 16：00
2. 場 所： エステック情報ビル 21 階 B 会議室（新宿西口）
3. 決議事項：

(1) 第 13 期（2022 年度）計算書類等の承認の件

第 13 期 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書、財産目録）の承認を受ける件

(2) 理事選任の件

任期満了に伴い、定款の定めによる理事 15 名以上 20 名以内選任の件

4. 報告事項

- (1) 第 13 期（2022 年度）事業報告の件
- (2) 理事の任期満了について
- (3) 今後の会議スケジュールについて
- (4) 評議員懇談会の位置付けについて

<決議事項>

●2023 年度第 1 四半期職務執行報告

法令及び理事会運営規程に基づき、2023 年度第 1 四半期の職務執行報告が会長、業務執行理事、室長・本部長より行われた。主な報告内容は下記のとおり。

【川合会長／代表理事】

- ① 各スポンサーへの挨拶
- ② 各種メディアとの取材対応や意見交換
- ③ 各自治体・都知事・市長との面談
- ④ 各種大会の開閉会式・表彰対応・視察（黒鷲旗・BV 立飛・平塚大会等）
- ⑤ キルギス協会副会長来会
- ⑥ FIVB ギド氏との会食
- ⑦ 理事候補者選定委員会出席

【村上事務局長／大会運営事業本部長】

- ① コーデソリューション(株)取締役との面談
- ② 理事候補者選定委員会出席

- ③ 第1回NF役員等合同勉強会・意見交換会出席
- ④ 人事評価制度詳細検討会議出席
- ⑤ イラン・イスラム共和国大使来会
- ⑥ 日本スポーツ協会評議員会出席
- ⑦ 黒鷲旗代表者会議出席・大会表彰対応

【灰西業務執行理事／指導普及事業本部長】

- ① 公認バレーボールコーチ養成講習会および資格更新研修会当の実施準備
- ② 法人化プロジェクト会議開催、法人化推進に向けた会議実施
- ③ ホットライン制度の通報対応
- ④ コンプライアンス委員会の開催
- ⑤ 裁定委員会設置準備（第三者による調査運用を開始）
- ⑥ 指導普及委員会幹部会開催

【紀伊業務推進室長】

- ① 経験者採用募集・最終面接対応
- ② HPT 研究所 伊藤所長面談
- ③ 渋谷労働基準監督署出張
- ④ 新入職員メンター個人面談実施／エルダー会議開催
- ⑤ 理事候補者選定委員会（選定事務局）陪席
- ⑥ 育児休業者との面談

【矢島ハイパフォーマンス事業本部長】

- ① Vリーグ機構理事会出席
- ② 男子強化委員会出席
- ③ 各種合宿視察（U19男子・U16女子合宿）
- ④ 各種大会視察（Vリーグファイナル、黒鷲旗、BV平塚、国際親善試合等）
- ⑤ Vリーグ機構コンプライアンス委員会出席
- ⑥ 男女記者会見参加
- ⑦ 砺波市長ご挨拶

【川合庶ビーチバレーボール事業本部長】

- ① ジャパンツアー各開催地大会打合せ
- ② 逗子マリーナ取締役との意見交換（SDGS）
- ③ ジャパンツアー開幕記者会見
- ④ JOC協働コンサル会議出席
- ⑤ 各自治体への挨拶
- ⑥ 渋谷FM・FM湘南ナパサラジオにて大会PR活動
- ⑦ 東京都生活文化スポーツ局打合せ

【藤山マーケティング事業開発本部長代行】

- ① 既存協賛社対応及び継続作業
- ② インターブランド社と新ブランディング作業
- ③ ビーチバレーに関する新ブランディング計画
- ④ 暴力撤廃アクション(取材対応・実施準備)
- ⑤ 環境問題へのアプローチ (アクションプランの策定)
- ⑥ 全国小学生大会バリューアップ施策実施
- ⑦ 国際大会日本招致活動 (東京都・スポーツ庁との打合せ)

●コンプライアンス委員会処分決定報告

都道府県 チームカテゴリー	コンプライアンス違反行為 (事実関係を認定した行為)	JVA 処分案 委員会決議日	JSP0 処分決定 指導者資格(登録番号)
兵庫県内小学生 バレーボールチーム 監督	暴力・暴言行為	登録抹消処分 2月16日 (第51回コンプライアンス委員会)	指導者資格 (コーチ1) 6か月停止処分

●功労者Ⅱ表彰報告

- 第14期(2023年度)第1回功労者Ⅱ表彰授賞者
- ・大塚 慶二郎 (公財)東京都バレーボール協会 名誉顧問

●JOC 日本ユニバーシアード委員の変更について

現委員) 積山 和明 氏 (一般財団法人全日本大学バレーボール連盟 理事長)

新委員) 松井 泰二 氏 (同連盟 理事・男子強化副委員長)

※6月のJOC委員改選のタイミングより交代

以上